WY79460
PJP-50USB
F.W. 2.04

仕様変更のご案内

本機の仕様変更により、下記の機能が追加されました。

動作モードについて

仕様の変更により、新しい動作モードが追加されました。

単体（ゾーン）［初期設定値］：PJP-50USB を単体で使用する場合に選びます。比較的静かな環境下での利用に適しています。収音方式はゾーンモードとなります。

単体（追尾）：PJP-50USB を単体で使用する場合に選びます。雑音や騒音が比較的多い環境下での利用に適しています。収音方式は追尾モードとなります。

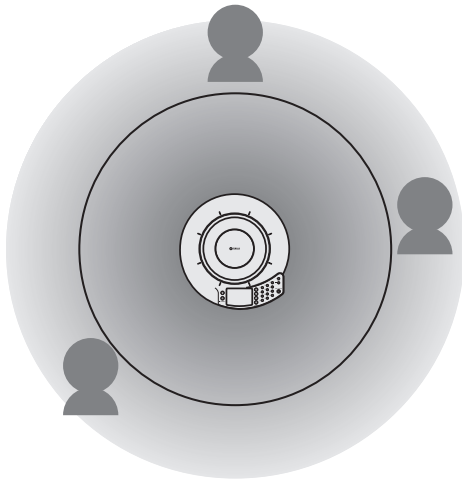
連結：PJP-50USB を連結して使用する場合に選びます。収音方式はゾーンモードとなります。

外部スピーカ：PJP-50USB に外部スピーカーを接続して使用する場合に選びます。収音方式はゾーンモードとなります。

本体キーによる設定

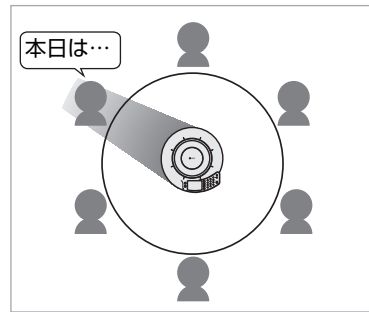
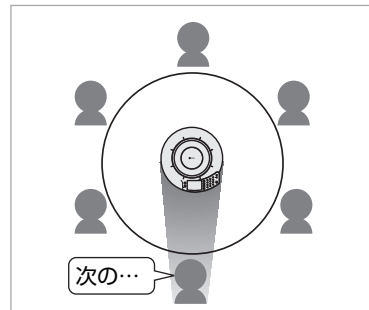
「メニュー」→「パラメータ設定」→「動作モード」を選ぶ。

ゾーンモード

音声を広範囲に収音します。比較的静かな環境下での利用に適しています。

ご注意

ゾーンモードでは、マイクエリアの設定を変更することができません。全てのエリアが有効になります。

追尾モード

発話者の音声を自動追尾します。非常に狭い指向性で収音できるため、発話者の音声以外の周囲雑音を大幅に低減することができます。雑音や騒音が比較的多い環境で、音声をよりクリアに収音したい場合に適しています。同時に収音できる発話者は 1 人のみです。

発話者の方向を自動追尾

PJP-50USB 同士の連結接続機能が追加されました

PJP-50USB 同士を最大 4 台まで連結接続できる機能が追加されました。PJP-50USB を連結することで、多人数での会議や広いスペースでの会議に対応できます。

ご注意

- 連結接続して使用する場合は、全ての PJP-50USB を同じファームウェアにしてください。
- PJP-50USB 以外のプロジェクトフォンを混ぜた連結接続はできません。
- 各 PJP-50USB に、付属の AC アダプターを接続する必要があります。
- 基本操作については、PJP-50USB に付属している取扱説明書を参照してください。
- PJP-50USB を連結接続するには、台数と同じ数のステレオミニケーブル（抵抗無し）が必要になります。

・ 連結接続されたPJP-50USBでは、マイクエリアの設定を変更することができません。連結接続時は、全てのエリアが有効になります。

ヒント
連結接続時は、ゾーンモードで収音します。

設定を変更する

全ての PJP-50USB で「動作モード」を「連結」に設定してください。

1 「メニュー」→「パラメータ設定」→「動作モード」を選択する。

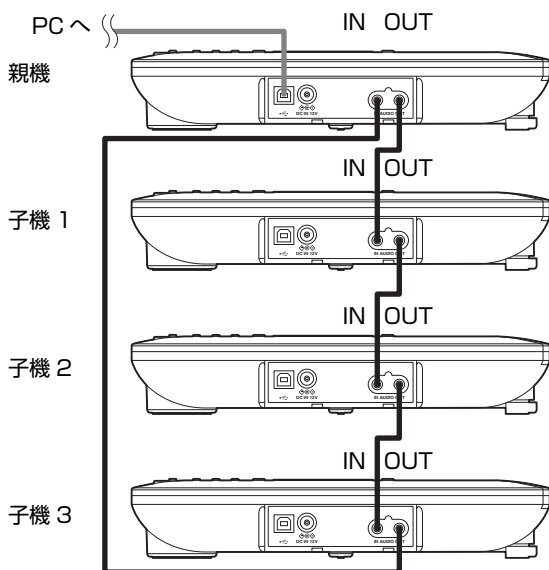
2 「連結」を選択する。

PCとUSB接続されたPJP-50USBが親機、親機に接続されたPJP-50USBが子機と自動で設定されます。

PJP-50USB を連結接続する

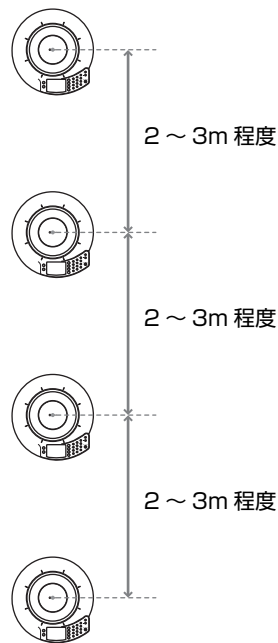
市販のステレオミニケーブル（抵抗無し）を使用して、各PJP-50USBのAUDIO OUT 端子と AUDIO IN 端子を接続します。下の図は、親機に 3 台の子機を連結する場合の例です。

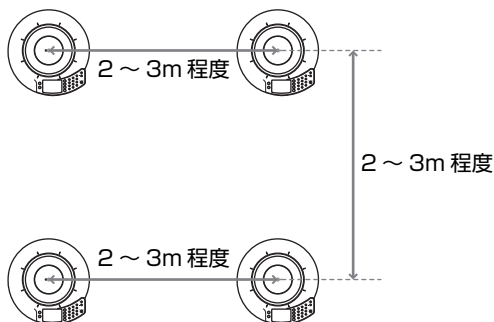
ご注意
PCとUSB接続するPJP-50USBは1台のみにしてください。複数台接続すると正常に動作しません。また、1台も接続されていない場合は、全てのPJP-50USBが子機と認識され使用することができません。

ヒント
各PJP-50USBの動作モードを確認するには、「メニュー」→「設定内容の表示」を選択し、「モード」を確認してください。

ご注意
連結接続されたPJP-50USBからは、AUDIO IN/OUT レベルを変更することができません。AUDIO IN/OUT レベルは自動で連結接続用の値が適用されます。

会議室に設置する

以下の設置例を参考に、連結した PJP-50USB を設置してください。PJP-50USB 同士が近すぎると、通話先でエコーが発生する場合があります。

（直線状に 4 台配置）

各機の中心を 2 ～ 3m 程度離してください。

（並べて 4 台配置）

各機の中心を 2 ～ 3m 程度離します。

エコー除去量を変更する

使用環境にあわせてエコー除去量を設定します。

ご注意

エコー除去量は、全てのPJP-50USBで同じ値に設定してください。

- **弱**（初期設定値）：通話品質は一番安定します。
- **中**：初期設定値では通話先でエコーが発生する場合に選びます。
- **強**：「中」設定でも通話先でエコーが発生する場合に選びます。

「メニュー」→「パラメータ設定」→「エコー除去量」を選ぶ。

ヒント

- 通話先でエコーが発生しない場合は、「弱」（初期設定値）のままお使いください。
- 「中」、「強」に変更するごとにエコー処理能力は上がりますが、通話品質が低下する場合があります。

スピーカー音量を調整する

スピーカーの音量を調整する場合は、親機または PC から行ってください。親機または PC を操作すると、連結している全ての PJP-50USB に操作内容が反映されます。

ご注意

子機からは、スピーカー音量の調整はできません。

マイクをミュートする

マイクをミュートする場合は、親機または PC から行ってください。親機または PC を操作すると、連結している全ての PJP-50USB に操作内容が反映されます。

ご注意

子機からは、マイクミュートの操作はできません。

外部スピーカーの接続機能が追加されました

PJP-50USB に外部スピーカーを接続できる機能が追加されました。外部スピーカーを接続することで、より大きな音量による会議を実現します。

ご注意

- 外部スピーカーを接続して使用する際は、PJP-50USB のスピーカーから音声は再生されません。
- 接続する外部スピーカーは、アンプ内蔵のものを使用してください。
  （動作確認済みスピーカー：ヤマハ MSP3）
- 基本操作については、PJP-50USB に付属している取扱説明書を参照してください。
- PJP-50USB と外部スピーカーを接続するには、市販のステレオケーブル（抵抗無し）が必要になります。PJP-50USB の AUDIO OUT 端子は、ステレオミニジャックになります。
- 外部スピーカーモード時は、マイクエリアの設定を変更することができません。全てのエリアが有効になります。

ヒント

外部スピーカーの接続時は、ゾーンモードで収音します。

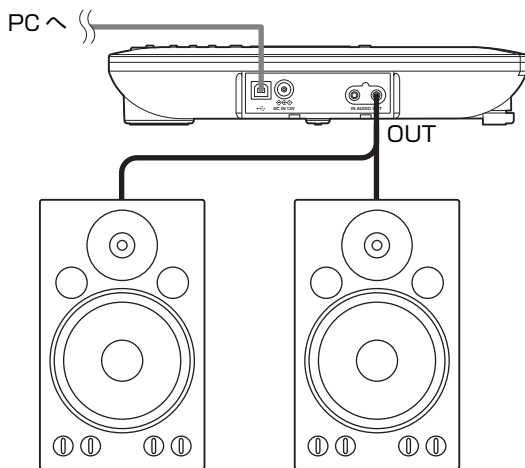
設定を変更する

PJP-50USB の「動作モード」を「外部スピーカ」に設定してください。

1 「メニュー」→「パラメータ設定」→「動作モード」を選択する。

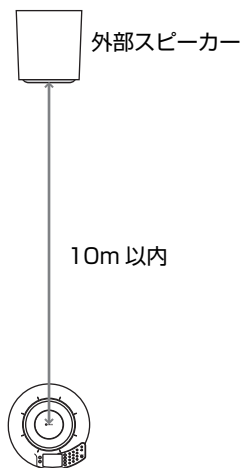
2 「外部スピーカ」を選択する。

外部スピーカーを接続する

市販のステレオケーブル（抵抗無し）を使用して、PJP-50USB の AUDIO OUT と外部スピーカー（1 台または 2台）を接続します。下図は、PJP-50USB にヤマハ MSP3 を 2 台接続する場合の例です。

ヒント
各 PJP-50USB の動作モードを確認するには、「メニュー」→「設定内容の表示」を選択し、「モード」を確認してください。

ご注意
外部スピーカーモード時は、AUDIO OUT レベルを変更することができません。AUDIO OUT レベルは自動で外部スピーカー接続用の値が適用されます。

会議室に設置する

以下の設置例を参考に、PJP-50USB と外部スピーカーを設置してください。

外部スピーカーは、PJP-50USB から 10m 以内に設置してください。

エコー除去量を変更する

使用環境にあわせてエコー除去量を設定します。

- **弱**（初期設定値）：通話品質は一番安定します。
- **中**：初期設定値では通話先でエコーが発生する場合に選びます。
- **強**：「中」設定でも通話先でエコーが発生する場合に選びます。

「メニュー」→「パラメータ設定」→「エコー除去量」を選ぶ。

ヒント
- 通話先でエコーが発生しない場合は、「弱」（初期設定値）のままお使いください。
- 「中」、「強」に変更するごとにエコー処理能力は上がりますが、通話品質が低下する場合があります。

スピーカー音量を調整する

スピーカーの音量を調整する場合は、PJP-50USB と Web 会議システムの音量を最大にしてから、外部スピーカーで行ってください。

ご注意
- PJP-50USB と Web 会議システムのスピーカー音量を最大にする場合は、外部スピーカーの音量を最小にしてから行ってください。
- PJP-50USB と Web 会議システムのスピーカー音量を最大にせず外部スピーカーで調整すると、通話先でエコーが発生する場合があります。
- スピーカーの音量は、音が割れないように調整してください。音が割れると、通話先でエコーが発生する場合があります。

（2011 年4月）